

令和4年11月2日

6年生保護者様

廿日市市立宮園小学校  
校長 中谷 一志

### 令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

令和4年4月19日に実施された令和4年度全国学力・学習状況調査（学力テスト）の結果と分析について、お知らせします。

#### ☆教科に関する調査（平均正答率）

	国語科	算数科	理科
宮園小学校	71%	66%	67%
広島県	67%	64%	66%
全国	65.6%	63.2%	63.3%

国語科・算数科・理科ともに、全国・県の正答率を上回っており、学習の基礎・基本を身に付けることができているとされています。また、アンケート結果から多くの児童が主体的に取り組むことができていると考えられます。しかしながら、各問題の正答率を見ていくと、国語科・算数科・理科において正答率60%を下回る問題が若干ありました。

#### 国語科

##### ◆正答率が60%を下回った問題

- ・「話すこと」：互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめること。（正答率54.3%）
- ・「書くこと」：文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけること。（正答率57.1%）
- ・「言語事項」：漢字「録画」の書き取り。（正答率54.3%）

##### ◆課題

- ・条件のある記述  
「複数」の条件を満たして記述によって答えることに課題があると考えられます。
- ・「物語文」や「説明文」ではないテキストの読み取り  
「話し合いの場面」や「修正前後の文章の比較」など非連続面テキストの読み取りに課題があると考えられます。

##### ◆今後の取組

- ・感想や自分の考えを記述する際、条件を付けて書かせるなど、条件を意識するような課題を出していきます。
- ・家庭学習において、テーマを与えた作文なども書かせていきます。
- ・様々な学習場面で、条件に応じた発言や記述をする活動を仕組んでいきます。
- ・漢字の練習では、様々なパターンで練習させるようにします。

## 算数科

### ◆正答率60%を下回った問題

- ・「生活に根ざした算数」：目的に合った数の処理の仕方（概数）を考察できる。（正答率25.7%）  
数量が変わっても割合は変わらないことを理解する。（正答率22.9%）
- ・「プログラムの説明」：プログラミングの場面で、図形の意味や性質をもとに、図形の構成要素について考察する。（正答率44.3%）
- ・「データの読み取り」：目的に応じてグラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる。（正答率60%）

### ◆課題

- ・知識・技能を活用すること

生活場面で自分の知識を使って問題を解くことや、複数の資料やデータを読み取り、比較すること  
も課題があると考えられます。

- ・図形領域に関すること

図形の構成要素や図形の意味や性質の理解が十分でないと考えられます。

### ◆今後の取組

- ・発展問題や学習コーナーなどで、知識や技能を日常生活に生かすことができるようにします。
- ・他教科と関連して、図やグラフ等の読み取りや作成を積極的に取り入れていきます。
- ・体験を通して、図形の意味や性質、構成要素が理解できるようにします。

## 理科

### ◆正答率60%を下回った問題

- ・「粒子を柱とする領域」：自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる。（正答率57.1%）  
水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している。（正答率54.3%）
- ・「地球を柱とする領域」：観察などで得た結果を、結果からいえることの観点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。（正答率42.9%）

### ◆課題

- ・表から根拠となる結果を読み取り、問題に正対するまとめを行うこと

二つの条件を満たして答えることに課題があると考えられます。

- ・観察で得た結果を複数の視点で分析し、解釈すること

結果を分析して、解釈し、自分の考えをもつことに課題があると考えられます。

### ◆今後の取組

- ・問題を解決する中で、自分で予想し、それを基に実験や観察ができるようにします。
- ・複数の資料から数量、変化の大きさなど特徴を読み取り、その関わりなどについて話し合う活動を行います。
- ・提示された資料から読み取り、自分の考えを表現する機会を増やします。

## 児童質問紙

質問事項	宮園小	広島県	全国
授業では、課題解決に向けて、自分で考え取り組んでいましたか。	<b>86%</b>	76%	77%
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	<b>88%</b>	79%	78%
授業以外に平日1日当たり、1時間以上勉強していますか。	<b>74%</b>	61%	59%
人が困っているときには進んで助けていますか。	<b>85%</b>	89%	89%
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談することができます。	<b>66%</b>	70%	68%

本校が取り組んできた自由進度学習の成果が表れ、問題解決に向けて取り組む力や、自分で調整して学習する力が身に付いている児童が多くいます。

一方、課題は、困っている人を助けたり、周りに助けてくれる存在の大人が少なかったりと、困難な場面での援助が少ないことです。学校では児童が相談しやすい体制を整えたり、話しやすい雰囲気づくりをしたりして早めに児童の悩みに対応できるようにしていきます。ご家庭でもお子様の様子を見られて、気づきがありましたら、お知らせいただくと助かります。よろしくお願いいたします。